

## 祖父母と私をつなぐ税金

中山町立中山中学校 3年 今田 寛花

私には大好きな祖父と祖母がいます。祖父母は私が部活動や勉強で良い結果を取めることができた時に、誰よりも一番喜んでくれます。一方で、私が落ち込んでいたり、悩み事を抱えていたりした際には、親身になって私の話を聞いてくれます。祖父母が私のそばにいてくれるだけでなんだかほっとします。そんな祖父母は私にとってかけがえのない存在です。

しかし、二人とも持病をかかえています。そのため、毎日三回、沢山の種類の薬を飲んでいきます。例えば、がんや肺炎の進行を抑制するための薬などがあります。中には一錠四千円以上する高価な薬もあります。これらの薬は、祖父母の命をつなぐ大切な薬です。しかし、沢山の種類の薬を飲んでいる分、薬にかかる費用も多額です。そのため、収入の少ない年金暮らしをしている祖父母には支払うことが難しい金額です。

しかし、国が社会保障の一貫として医療費の一部を負担しているため祖父母は安心して薬を飲むことができます。このように、国では社会保障の一貫として、一般または低所得の七十五歳以上の高齢者の医療費の九割を負担してくれています。さらに、祖父はデーマービスにも行っているため、医療費だけでなく介護費も一部国に負担してもらっています。日本に税金があるおかげで祖父母は命をつなぐことができます。そして私は祖父母とお話をしたり、一緒にご飯を食べたりして楽しい時間を過ごすことができます。

もし、日本に税金がなかったら、きっと祖父母は今まで生きてこれなかったと思います。今、私がこうして祖父母と楽しい時間を過ごすことができるのはまぎれもなく税金のおかげです。

世の中には、増税に対して不満を抱く人もいます。しかし、少子高齢化が進む今、国が負担する医療費や介護費などが増加しているのは事実です。そのため、それにともなって税金が増加するのは仕方のないことだと思います。税金は払って終わりではなく、その自分が払ったお金が回り回って自分だけでなく自分の家族や大切な人の支えになっているのだと思います。

私にとって税金とは、祖父母と私をいつまでも一緒にいさせてくれる大切な存在です。年齢を重ねて一人暮らしをしたり、自分でお金を稼ぐようになったりすれば支払わなければいけない税金も増えていきます。その時には、私の祖父母がしてもらった社会保障を次は祖父母の代わりに私が誰かにしてあげたいです。そして、国民全員が安心安全な生活を送ることができるように私も協力していこうと思います。